

令和7年第4回

羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会議録

令和7年11月28日開会
令和7年11月28日閉会

羽咋郡市広域圏事務組合議会

目 次

第1日 令和7年11月28日 金曜日

出席議員	1
欠席議員	1
説明のため出席した者の職氏名	1
職務のため出席した事務職員	2
開 会 (午前10時)	2
開 議	2
諸般の報告	2
会期の決定	2
会議録署名議員の指名	3
組合長提出議案の上程、説明	3
議案説明 組合長 岸 博一	3
質疑・質問	6
委員会付託	6
休 憩 (午前10時16分)	6
再 開 (午前11時55分)	7
委員長報告	8
決算特別委員会副委員長	8
総務厚生常任委員会委員長	9
質 疑	10
討 論	10
採 決	10
総務厚生常任委員会及び議会運営委員会並びになぎさ特別委員会	
所管事務の閉会中の継続調査の申し出	11
閉議・閉会 (午後12時10分)	11
(参 照)	
会期日程表	12
議事日程表	13
諸般の報告	13
会議に付した事件	14
議案付託表	14
委員会審査結果	15
閉会中の継続調査申出書	16
議決一覧	18

令和7年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会議録

令和7年11月28日（金曜日） 午前10時開会

◇ 出席議員（15名）

1番	塚本勇仁
2番	守田幸則
3番	丸田一幹
4番	寺井哲也
5番	櫻井英一
6番	寺井強
7番	越後敏明
8番	富澤軒康
9番	北本俊一
10番	北信幸
11番	新田義昭
12番	山本泰夫
13番	浅野俊二
14番	櫻井俊一
15番	林一夫

◇ 欠席議員

なし

◇ 説明のため出席した者の職氏名

組	合	長	岸	博一											
副	組	合	長	稲岡健太郎											
副	組	合	長	高下栄次											
事	務	局	長	岡嶋克己											
会	計	管	理	者	兼	出	納	室	長	木田和子					
事	務	局	環	境	保	全	課	長	大野伸夫						
事	務	局	総	務	課	参	事	川嶋聡							
消	防	長	松本裕												
消	防	本	部	次	長	兼	消	防	総	務	課	長	北英浩		
消	防	本	部	警	防	課	長	兼	羽	咋	消	防	署	長	吉田雅信
消	防	本	部	予	防	課	長	中本義久							
宝	達	志	水	消	防	署	長	西敏紀							

志賀消防署長	上野信一
病院事務長兼総務課長	石山裕樹
病院管理部門長	東健
病院サービス情報部門長	村井光一
病院総務課参事	中村啓亮
羽咋市総務部長兼総務課長	山本裕一
宝達志水町総務課長	金田成人
志賀町参事兼総務課長	村井直

◇ 職務のため出席した事務職員

議会事務局長	向井徹
議会事務局書記	池田希望

○ 開 会

◎議長（寺井哲也） それでは、ただ今から令和7年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

○ 開 議

◎議長（寺井哲也） 本日の会議は全員出席であります。よって、これより会議を開きます。

本日の会議の日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

○ 諸 般 の 報 告

◎議長（寺井哲也） 次に、諸般の報告につきましても、お手元に配付のとおりでありますので、御了承願います。

これより、日程に入ります。

○ 会 期 の 決 定

◎議長（寺井哲也） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は本日1日といたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

（異議なしと呼ぶ者多数、異議を唱えるものなし）

◎議長（寺井哲也） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

○ 会議録署名議員の指名

◎議長（寺井哲也） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員に13番 浅野俊二議員、14番 櫻井俊一議員、以上の2名の方々を指名いたします。

○ 組合長提出議案の上程、説明

◎議長（寺井哲也） 日程第3、これより組合長から提出がありました議案第14号 令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）から議案第16号 羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正についてまでを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。岸組合長。

〔岸博一組合長 登壇〕

◎組合長（岸博一） 本日ここに、令和7年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会が開会されるにあたり、本組合の当面する課題及び諸般の状況についてご報告いたしますとともに、提出いたしました議案についてご説明し、議員各位をはじめ、圏域住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめに、環境衛生業務について、ご報告いたします。

本年度の上半期における、ごみ処理の状況であります。搬入量は7,293トンで、前年同期と比べ705トン、率にして8.8パーセント減少しました。

主な要因としては、令和6年能登半島地震に伴う片付けごみの搬入が減少してきたことから、同年同期と比較して、ごみステーションからの収集ごみが625トン、率にして11.6パーセント減少している状況です。

なお、搬入量の推移については、依然として片付けごみの搬入はあるものの、地震発災前の搬入量程度に落ち着いてきている状況です。

今後も引き続き、市町と連携し、ごみの減量化と適正な処理に努めてまいります。

次に、斎場の施設整備について、ご報告いたします。

志賀斎場で行っております火葬炉整備事業については、現在、ユニットハウスと火葬炉の設置工事を進めており、12月からは既設火葬棟の解体工事に着手する予定としております。順調に工事が進めば、令和8年の2月中旬には新火葬炉の試運転を実施できる見込みです。

なお、本工事につきましては、利用者の方にはできるだけご不便がないよう、現火

葬炉設備を稼働したまま工事を進めていく計画としておりましたが、現火葬炉設備の老朽化が著しく、安定した火葬が困難となっていることや、敷地スペースの関係で来場者の安全面が確保できないことから、当初予定していた休業期間を延長し、来年3月31日まで休業といたします。

長期の休業となり、利用者の方々には多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、安全第一で工事を進めてまいります。

次に、新ごみ焼却施設の整備状況について、であります。

施設の建設については、躯体部分の建築と並行してプラント機器の製作を進めております。年明けから焼却炉本体の据付に取り掛かる予定であります。工事の着実な進捗に努めていきます。

次に、消防業務について、ご報告いたします。

はじめに、10月1日より全国一斉に開始されたマイナ救急について、であります。

これは、救急隊員がご本人のマイナ保険証を活用し、生年月日等の基本的な情報のほか、かかりつけ病院や服用している薬などの医療情報を専用のカードリーダーで閲覧し、円滑な搬送先病院の選定や病院での適切な処置に繋げるものであります。救急現場におけるご本人やご家族の負担を軽くするとともに、救急業務の円滑化を図ります。

次に、8月に実施した組合長特別点検について、ご報告いたします。

点検は中高層建築物の火災対応など、各訓練を通して指揮隊と各部隊の更なる連携強化や技術の向上を目的として行ったものであり、圏域住民の安全・安心のために成果を生かしてまいります。

次に、11月14日に実施した石川県警察との土砂災害対応合同訓練について、ご報告いたします。

訓練は、昨年の奥能登豪雨災害を受けて、宝達志水町針山の木材資源化センター敷地内に今年度整備した土砂災害対応訓練場において、両機関の連携強化と対応技術の向上を目的に、総勢およそ30名で実施しました。近年、激甚化・頻発化する自然災害に即応するため、今後も訓練を重ねていきます。

次に、常備消防施設整備事業の庁舎関連について、富来分署庁舎外構災害復旧工事は完了しました。

また、消防本部・羽咋消防署の新庁舎建設事業基本計画策定業務については、計4回の打合せを実施し、新庁舎に求められる機能や設備、建設候補地の条件等の課題を整理中で、次回の議会定例会までに基本計画をまとめて、報告する予定であります。

次に、消防活動について、火災件数は、本年1月から10月末現在で15件であり、前年同期に比べ2件の増加となっております。過去5年間の年間平均件数は1

6. 4件であり、平均的ではありますが、暖房器具を使用し、空気が乾燥する季節を迎え、火災発生の危険性が高まることから、広報を一段と強化し、火災予防に努めていきます。

次に、救急件数については、10月末現在2,306件で、地震があった前年同期に比べ52件減少していますが、3月以降は増加傾向であり、平年件数から昨年件数を上回る水準で推移しております。

七尾鹿島消防本部との管轄区域を越えての救急乗り入れ件数は10月末現在で9件あり、そのうち、3件が土田地区へ中島分遣所から救急車の出動を受けております。

引き続き、両消防本部の連携・協力を努め、増加する救急や消防要請に対し、万全を期していきます。

次に、病院事業について、報告いたします。

今年度は、施設老朽化対策・労働環境改善・業務効率化を推進する大規模改修3期工事の最終年度として、2期工事で空いた厨房跡地に中央検査室を移設して検体検査の迅速化を図るとともに、生理検査室の全面改修を行うなど、事業を進めているところです。

また、医師当直室等ファンコイル更新工事を行い、療養環境の改善に取り組んでいます。

器械備品整備では、超音波診断装置を更新し、高性能化された画像化技術によって、より精度の高い診断が可能となり、迅速かつ適切な治療につながるものと考えております。

次に、上半期の業務状況について、であります。

まず、患者数については、前年度上半期との比較で入院患者数は2,261人の増、外来患者では2,131人の減となっております。

事業収益では、前年度上半期との比較で9,727万円の増額、事業費用では、9,962万円の増額となり、収支差引では、235万円の減額となっておりますが、上半期で4,475万円の利益を確保しております。

下半期についても、引き続き、健全経営と良質な医療サービスの提供に努め、信頼される病院を目指していきます。

以上を申し上げ、提出議案の説明に入ります。

本定例会に提出する案件は、補正予算案1件、条例案2件の計3件です。

はじめに、議案第14号、令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算第1号につきましては、歳入歳出それぞれ674万3千円を追加し、補正後の予算総額を60億7,724万3千円に定めようとするものです。

補正の主な内容は、歳出では衛生費において、埋立処分場やし尿処理施設におけるポンプ等の修繕料等を追加し、消防費では新年度新規採用職員用の被服購入費用

及び羽咋消防署配備の救急車のエンジン修理費用を追加しようとするものです。

歳入では、能登半島地震被災地のし尿受入れがなくなったことから、受託事業収入の全額1,606万円を減額し、市町分担金2,253万9千円を追加しようとするものです。

議案第15号、羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定につきましては、公立羽咋病院において、継続的かつ安定的に職員を確保するため、奨学金返還に対する支援金の貸与制度を導入しようとするものです。

議案第16号、羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正につきましては、令和7年2月に発生した大船渡市の林野火災を受けて、林野火災の注意報や警報の的確な発令等により林野火災予防の実効性を高めることを目的として、所要の改正を行うものです。

以上をもって提出いたしました案件の説明を終わりますが、詳細につきましては、所管の委員会において説明いたしますので、慎重審議のうえ、適切なる御決議を賜りますようお願いを申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

〔岸博一組合長 降壇〕

◎議長（寺井哲也） これにて提案理由の説明を終わります。

○ 質 疑 ・ 質 問

◎議長（寺井哲也） 日程第4、これより組合長提出案件に対する質疑及び広域行政一般に対する質問を行います。質疑、質問に入りますが、通告がなされておられませんので、議会運営委員会の決定に従い、質疑、質問がないものと認め、質疑、質問を終結いたします。

○ 委 員 会 付 託

◎議長（寺井哲也） 日程第5、ただいま議題となっております議案につきましては、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、総務厚生常任委員会に付託いたします。

よって、休憩中に委員会を開催し、付託されました案件の審査をお願いいたします。

○ 休 憩

◎議長（寺井哲也） ここで、委員会開催のため、暫時休憩いたします。

午前10時16分 休憩

午前11時55分 再開

◇ 出席議員（15名）

1番	塚本勇仁
2番	守田幸則
3番	丸田一幹
4番	寺井哲也
5番	櫻井英一
6番	寺井強
7番	越後敏明
8番	富澤軒康
9番	北本俊一
10番	北信幸
11番	新田義昭
12番	山本泰夫
13番	浅野俊二
14番	櫻井俊一
15番	林一夫

◇ 欠席議員

なし

◇ 説明のため出席した者の職氏名

組	合	長	岸	博一														
副	組	合	長	稲岡健太郎														
副	組	合	長	高下栄次														
事	務	局	長	岡嶋克己														
会	計	管	理	者	兼	出	納	室	長	木	田	和	子					
事	務	局	環	境	保	全	課	長	大	野	伸	夫						
事	務	局	総	務	課	参	事	川	嶋	聡								
消	防	長	松	本	裕													
消	防	本	部	次	長	兼	消	防	総	務	課	長	北	英	浩			
消	防	本	部	警	防	課	長	兼	羽	咋	消	防	署	長	吉	田	雅	信
消	防	本	部	予	防	課	長	中	本	義	久							
宝	達	志	水	消	防	署	長	西	敏	紀								
志	賀	消	防	署	長	上	野	信	一									
病	院	事	務	長	兼	総	務	課	長	石	山	裕	樹					

病院管理部門長	東	健
病院サービス情報部門長	村井	光一
病院総務課参事	中村	啓亮
羽咋市総務部長兼総務課長	山本	裕一
宝達志水町総務課長	金田	成人
町参事兼志賀町総務課長	村井	直

◇ 職務のため出席した事務職員

議会事務局長	向井	徹
議会事務局書記	池田	希望

○ 再 開

◎議長（寺井哲也） 休憩前に引き続き、これより会議を開きます。

○ 委員長報告

◎議長（寺井哲也） 日程を続けます。日程第6、これより、組合長から提出されております議案第14号から第16号及び第2回議会定例会より継続審査となっております、認定第1号から第3号までを一括して議題といたします。

各件に対する決算特別委員会及び総務厚生常任委員会の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

◎議長（寺井哲也） 決算特別委員会副委員長 寺井強議員。

〔寺井強決算特別委員会副委員長 登壇〕

◎決算特別委員会副委員長（寺井強） 決算特別委員会委員長報告をいたします。令和7年8月27日開催の第2回議会定例会において、決算特別委員会に付託されました、認定第1号 令和6年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について、認定第2号 令和6年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について、認定第3号 令和6年度公立羽咋病院事業会計決算認定について、以上3件につきまして、本委員会における審査の経過、並びに結果について、御報告を申し上げます。

本委員会は、決算の審査にあたり、8月27日と議会閉会中の9月24日の2回にわたって、委員会を開催し、各決算書及び附属書類に基づき、所管部署から詳細な説明を求め、特に、事務事業の効果的な運用と、予算執行が、適切かつ効率的に行われているか、また、広域行政の目的である、圏域住民の安全・安心と福祉の向上に寄与しているか、を主眼にして、慎重に審査をいたしました。

その結果、付託された認定3件については、いずれも、全会一致をもって、原案のとおり認定すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の意見と要望が付されておりますので、併せて、御報告を申し上げます。

まず、一般会計においては、前年度からの指摘事項である埋立地処分場用地について、正確な所有者・相続人等が不明なままとなっており、早急に権利関係を明確にしたうえで借地問題を早期解決するよう要請がありました。

また、そのことに関連し担当部局と理事の間でも運営理事会等で方向性を煮詰めるべきとの意見がありました。

そのほか、新消防署建設計画について、整備計画の方向性の確認と、建設場所の津波対策等はどう考えているか、及び敷地の必要面積等についての質問があり、ハザードマップなど市の防災計画と整合を図ることについて担当部局より詳細な説明を受けました。

次に、ふるさと振興事業特別会計では、ふるさと振興事業の目的について、担当課より各市町の地域振興及び職員の資質向上を目的としたものに充当されており、趣旨に沿ったものに助成している旨の詳細な説明を受けました。

続いて、公立羽咋病院事業会計では、今回、赤字となったが黒字回復のための方策を求める意見があり、その対策として優秀な医師を招くために報酬を上げるなどして、選ばれる病院を目指すべきとの意見が出されたことを申し添えます。

以上のとおり、本決算特別委員会は、組合執行部に対し、議会として意見を申し述べ、各部門の事務事業の運営方針や、その改善のための、次年度予算への反映についても要望を付して、令和6年度3会計決算について、これを認定すべきものと決した次第であります。

よって、本会議においても、本委員会と同様の議決を賜りますよう、お願い申し上げます。以上です。

〔寺井強決算特別委員会副委員長降壇〕

◎議長（寺井哲也） 総務厚生常任委員会 委員長 林一夫議員。

〔林一夫総務厚生常任委員会委員長 登壇〕

◎総務厚生常任委員会委員長（林一夫） 総務厚生常任委員会に付託されました案件につきまして、委員会を開催し、審査いたしましたのでその経過と結果について御報告を申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、議案第14号 令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）、議案第15号 羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定について、及び 議案第16号 羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正についての3件であります。

当委員会につきましては、全議員で構成された委員会でありますので、審査の詳細

細については、省略させていただきますが、審査にあたっては、圏域住民の安全安心の観点はもとより、事業の適正な執行や効果等も含め、全般にわたって検討し、慎重に審査したところであります。

その結果、議案第14号、第15号及び議案第16号はいずれも全会一致をもって「可決すべきもの」と決しました。

なお、審議に際し、救急車両について円滑な運用を求める意見があったほか、奨学金支援金貸与条例について、既存制度の違いについての質問のほか、現在、看護師等は足りているのか等の質問があり、担当部署から説明を受けました。

また、その他の案件につきましても、担当部局から詳細な説明を受けたことを申し添えいたします。

よって、本会議におきましても、委員会同様の議決を賜りますよう、お願いを申し上げます。以上、総務厚生常任委員会委員長報告といたします。

〔林一夫総務厚生常任委員会委員長 降壇〕

◎議長（寺井哲也） 以上で委員長の報告を終わります。

○ 質 疑

◎議長（寺井哲也） これより、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（異議なしと呼ぶ者多数、異議を唱えるものなし）

◎議長（寺井哲也） 質疑がないものと認め、質疑を終結いたします。

○ 討 論

◎議長（寺井哲也） これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

○ 採 決

◎議長（寺井哲也） これより、採決に入ります。

それでは、認定第1号から第3号までの3件について一括して採決いたします。

本件に対する委員長の報告は、いずれも、原案のとおり認定であります。お諮りいたします。本件は、委員長の報告のとおり認定することに、御異議ありませんか。

（異議なしと呼ぶ者多数、異議を唱えるものなし）

◎議長（寺井哲也） 御異議なしと認めます。よって、本件は、委員長の報告のとおり認定することに決定いたしました。

◎議長（寺井哲也） 次に、組合長提出議案第14号「令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）」を採決します。

この採決は、起立によって行います。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。本案は、委員長報告のとおり決することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（寺井哲也） 起立全員。よって、本案は、委員長報告のとおり、可決されました。

◎議長（寺井哲也） 続いて、組合長提出議案第15号「羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定について」及び議案第16号「羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正について」を一括して採決いたします。お諮りいたします。以上の両案に対する委員長の報告は、原案可決であります。両案は、委員長報告のとおり決することに、御異議ありませんか。

（異議なしと呼ぶ者多数、異議を唱えるものなし）

◎議長（寺井哲也） 御異議なしと認めます。よって、両案は委員長報告のとおり、可決されました。

○ 総務厚生常任委員会及び議会運営委員会並びになぎさ特別委員会
所管事務の閉会中の継続調査の申し出

◎議長（寺井哲也） 次に、日程第7、総務厚生常任委員会委員長、議会運営委員会委員長及びなぎさ特別委員会委員長から、お手元に配付のとおり、所管事務の調査について、閉会中の継続調査の申し出がありましたので議題といたします。お諮りいたします。本件は、各委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査をすることに、御異議ありませんか。

（異議なしと呼ぶ者多数、異議を唱えるものなし）

◎議長（寺井哲也） 御異議なしと認めます。よって本件は、各委員長の申し出のとおり決定いたしました。

○ 閉 議・閉 会

◎議長（寺井哲也） 以上をもちまして、本日の会議の議事日程は、すべて終了いたしました。よって、本日の会議を閉じ、令和7年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会を閉会いたします。皆様、ご苦勞様でした。

午後12時10分 閉会

◇ 会期日程表

令和7年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会期日程表

(会期1日)

月日	本会議・委員会の別	開議時刻	議 事	場 所
11月28日 (金)	委員会	午前9時30分	議会運営委員会	第1委員会室
	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・会期の決定 ・会議録署名議員の指名 ・議案上程、説明 ・質疑、一般質問 ・委員会付託 	議場
	委員会	本会議休憩時	総務厚生常任委員会	401会議室
		総務厚生常任委員会終了後	議会運営委員会	第1委員会室
	本会議	議会運営委員会終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長報告 ・質疑、討論、採決 ・継続調査の申し出 ・閉会 	議場

◇ 議事日程表

令和7年11月28日（金） 午前10時開会

（議会運営委員会を議会開会前の午前9時30分に開催）

（本会議開議）

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議案第14号から議案第16号までについての上程、説明

日程第4 議案第14号から議案第16号までについての質疑、広域行政一般についての質問

日程第5 議案第14号から議案第16号までについての総務厚生常任委員会付託

（休憩）

（付託案件審査のため総務厚生常任委員会を開催、総務厚生常任委員会終了後、議会運営委員会を開催）

日程第6 議案第14号から議案第16号まで並びに認定第1号から認定第3号までについての委員長報告、質疑、討論、採決

日程第7 総務厚生常任委員会及び議会運営委員会並びになぎさ特別委員会所管事務の閉会中の継続調査の申し出

（本会議閉会）

◇ 諸般の報告

（1）監査委員の検査結果報告について

令和7年10月27日までに実施された一般会計、ふるさと振興事業特別会計及び公立羽咋病院事業会計の例月出納については、出納関係諸帳簿と照合した結果、予算の執行状況及び現金の保管について適正に執行されている旨の報告を受けた。

◇ 会議に付した事件

- 組 合 長 提 出 議 案 第 1 4 号 令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）
- 組 合 長 提 出 議 案 第 1 5 号 羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定について
- 組 合 長 提 出 議 案 第 1 6 号 羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正について

◇ 議案付託表

総務厚生常任委員会

番号	付託議案
1	組 合 長 提 出 議 案 第 1 4 号 令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第1号）
2	組 合 長 提 出 議 案 第 1 5 号 羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定について
3	組 合 長 提 出 議 案 第 1 6 号 羽咋郡市広域圏事務組合病院事業火災予防条例の一部改正について

◇ 委員会審査結果

総務厚生常任委員会

番号	付 託 議 案	結 果	理 由
議案第14号	令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)	原案可決	妥当と認む
議案第15号	羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定について	原案可決	妥当と認む
議案第16号	羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正について	原案可決	妥当と認む

決算特別委員会

番号	付 託 議 案	結 果	理 由
認定第1号	令和6年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	妥当と認む
認定第2号	令和6年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	妥当と認む
認定第3号	令和6年度公立羽咋病院事業会計決算認定について	認 定	妥当と認む

◇ 閉会中の継続調査申出書

令和7年11月28日

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長 寺井哲也様

総務厚生常任委員会
委員長 林 一夫

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 行政事務の改善に関すること
(2) 消防業務の充実に関すること
(3) 環境衛生業務の充実に関すること
(4) 医療業務の充実に関すること

理由 調査未了のため

令和7年11月28日

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長 寺井哲也様

議会運営委員会
委員長 北本俊一

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 次期定例会の会期、日程等に関すること
(2) 議会の運営に関すること
(3) 議長の諮問に関すること

理由 調査未了のため

令和7年11月28日

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長 寺井哲也様

なぎさ特別委員会
委員長 北 信幸

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 千里浜なぎさ区域の環境整備、保全に関する事
(2) 千里浜なぎさ区域の交通安全に関する事

理由 調査未了のため

◇ 議決一覧

議決番号	議案番号	件名	議決年月日	結果	備考
議決第17号	組合長提出 認定第1号	令和6年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について	7.11.28	認定	
議決第18号	組合長提出 認定第2号	令和6年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について	7.11.28	認定	
議決第19号	組合長提出 認定第3号	令和6年度公立羽咋病院事業会計決算認定について	7.11.28	認定	
議決第20号	組合長提出 議案第14号	令和7年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)	7.11.28	原案可決	
議決第21号	組合長提出 議案第15号	羽咋郡市広域圏事務組合病院事業企業職員奨学金返還支援金貸与条例の制定について	7.11.28	原案可決	
議決第22号	組合長提出 議案第16号	羽咋郡市広域圏事務組合火災予防条例の一部改正について	7.11.28	原案可決	

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

羽咋郡市広域圏事務組合議会議長 寺 井 哲 也

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 浅 野 俊 二

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 櫻 井 俊 一